（様式3）

事業所名 社会福祉法人　大形福祉会　グループホーム大形

作成日：　令和　5年　1月　20日

目標達成計画

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	14	訪問時に教養フロアのカウンターには記録物が置かれてあった。個人情報が書かれたものであるので、今後はそのようなことが起こらないような注意と取り組みが期待される。	職員が個人情報の守秘義務を理解し、記録物の扱いについて理解が得られるようになる。	個人情報の守秘義務について定期的（年1回）に具体例を挙げ説明する。 ・カウンターの上に記録物を置かない。 ・席を外す時は記録物を閉じるか御利用者から目の届かない場所に移す。 ・個人情報が載っている用紙を裏紙として使用せず必ずシュレッダーにかける。	12ヶ月
2	12-2	今後は事業研修計画に緊急時の研修を位置づけ、毎年度、受講体制を整え、突然来る緊急時を想定した利用者、職員の安全の確保と更なる準備を期待したい。	職員全員が慌てることなく日中、夜間帯共に緊急時の対応が出来るようになる。	緊急時の対応は個々に若手職員中心にシミュレーションを含めに行ってきたが、実際遭遇すると若手職員だけでなくベテラン職員でも慌てたり対応に抜けがあったりしている。今後、毎月の職員会議内にてシミュレーションを行うことで自ら学び、他職員の行動からも学べるように繰り返し行っていく。	12ヶ月
3	3	現在地へ移転後は、コロナ禍の影響もあり書類開催で行われているが、1回のみの開催である。管理者は職員会議等でその報告を行い、業務改善に繋がるよう話し合いを行ってきたが、取り組みの中で出てきた課題や経過報告等、具体的な内容の記録や報告書が行われていない現状がある。今後は地域の方達への参加の促し夜、意見要望等への検討と取り組み状況や経過報告等、具体的な活動内容を伝えながら、地域の方の理解も得られるよう、共に活動が行えることを期待したい。	・可能な限り運営推進会議を開催し、生の声を頂く。 ・事業所の取り組み報告だけでなく、その後の経過報告、苦情報告等も行っていく。	・コロナ禍ではあるが感染対策を行い、構成員の方々にお声掛けし参加して頂くようにする。 ・事故報告やヒヤリハット等発生した事だけでなく、その後の対応や改善策等を書面にしていくことと、今まで苦情相談に対して報告してこなかったが、今後は苦情の御報告もさせて頂き地域の皆様に内情を知って頂く事で開かれた事業所を目指す。	6ヶ月
4	13	今後、法人全体でBCPを作成する予定との事であるが、突然来る災害に備え安全確保に努めるよう期待したい。	職員全員がBCPの理解が出来、御利用者の安全、インフラ停止時の備え、緊急時の連絡先、備畜品等に対して行動が出来る。	法人の防災委員会にてBCP計画を立て、BCPファイルを作成する。複合型合同で火災、水害、地震、感染症等予測できない災害に対しての訓練を行う。（地域住民の避難場所である事から過ごしていただく場所、物品の準備等役割分担を明確にしておく。）	12ヶ月
5					ヶ月